

# 北米コースには「ジャズ史」も

## 留学先の科目提示

### 国際教養大 GS部会が初会合

国際教養大学創設準備委員会のグローバル・スタディズ専門部会（中嶋雄雄部会長、七人）の初会合が二十七日、東京・平河町の都道府県会館で開かれ、グローバル・スタディズ（GS）課程の北米コースについて協議した。留学先として提携する米ミネソタ州立ウイノナ大の開講科目が示され、北米コースのカリキュラムがほぼ固まった。

ウイノナ大の開講科目には「北米研究概論」など国際教養大との類似科目のほか、「アメリカのジャズ史」などユニークな科目が並ぶ。国際教養大では一年間以上の留学（二～四年次、時期は選択可能）を義務づけ、単位互換科目を三十単位程度を履修する。県事務局

は「留学前のTOEFL試験で五百五十点以上は達成してほしい」とウイノナ側から要望があった」と報告した。同部会では、国際教養大への留学生が履修する日本研究コースについても協議。「日本語」科目は留学生のレベルに合わせて、ハクラスに分ける方



針を決めた。今後、ウイノナ大との

教員相互派遣に関して検討する。GS課程のもう一つの柱である中国コースのカリキュラムについても詰めていく。

グローバル・スタディズのカリキュラムを協議した国際教養大創設準備専門部会＝東京・平河町の都道府県会館

28/5/03  
秋田 さきがけ